

小林市立病院経営強化プラン（案）に対する意見等  
及びそれに対する市の考え方

小林市健康福祉部健康推進課

- 1 募集期間 令和6年1月11日～令和6年2月9日
- 2 意見の件数 1名 1件
- 3 意見の概要

番号	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>収支状況について、医業損益で3億以上の赤字金額は大きすぎる。包括病棟の拡大やレスパイト入院は同感できるが、訪問診療及び訪問看護を開始するのは疑問を感じる。地域での役割分担が出来ていないし、市立病院の立ち位置が民間と同じになり曖昧になる。</p> <p>地域包括システムの構築及び地域連携法人を目指すのであれば、在宅医療は他の病院や診療所等の民間にお願いし、その分の医療マンパワーは救急や病棟などに充てた方が良いと思う。病棟の稼働率や救急の受け入れ数は、病院の規模からして少なすぎる。</p>	<p>収支状況につきましては、大変厳しい運営状況であることから内科医師の確保及び地域包括ケア病棟の増床等を行いながら収益を増やせるよう努力いたします。</p> <p>また、訪問診療等につきましては、当院で終末期を迎えた患者さん及び夜間急性増悪時の患者さんが親族と共に自宅等で安心して過ごしていただくために実施するものです。</p> <p>なお、病棟の稼働率につきましては、現在、内科医師不在のため、外科を中心に患者さんの受け入れを行っています。今後、内科医師の確保とともに、入院患者数の増加及び病棟稼働率も上がることが予想されます。併せて、救急科の体制につきましては、西諸広域行政事務組合（救急隊）と連携し、当院においては、より重症度の高い患者さんの受け入れを行っています。</p>
2	<p>労働者人口が今後益々減少する中、職員の採用に当たって年齢制限を撤廃し民間の経営方法を積極的に取り入れた方が改善に繋がると思う。他の公立病院では既に行っている。</p>	<p>職員の採用につきましては、各職種における年齢構成を見ながら、採用の困難度に応じて年齢の上限を引き上げるなど柔軟に採用を行っているところです。</p>

<p>3</p>	<p>医師の採用に関して、産婦人科及び小児科は今後も積極的に行ってほしい。人口減少の歯止めになると言っても過言ではない。この診療科がないので若者は益々減少する。</p> <p>これに加え、内科医ですが循環器の医師も積極的に行ってほしい。なぜなら、入院も増えるし収益にもつながるので経営改善には効果があると思う。</p> <p>例えば、宮崎市郡医師会病院は有名ですが、カテーテル研修の医師が多くて実践がなかなか出来ないとのこと。そこで市立病院にて実践も兼ねて行うなど急性期病院との連携も必要と思われる。</p> <p>公立病院として、難しいとは思いますが中核病院としての役割を全うして頂きたいと思います。</p>	<p>医師確保につきましては、あらゆる方法で手を尽くしていますが、今のところ新たな確保には至っておりません。</p> <p>また、当院には内科医師が在籍していませんが、精密検査や手術・入院における術後管理等の二次医療を行うには内科医師が重要な役割を担うところです。新たな内科医師の確保を第一優先として取り組みながら中核病院としての基盤を強化した上で、他診療科の医師確保についても引き続き努力してまいります。</p>
----------	---	---